

沼津あげつち商店街

(沼津あげつち商店街振興組合)

静岡県沼津市

！取組のポイント

一級河川の狩野川の河川空間の民間活用を実践、賑わいと憩いの場を創出し、中心市街地の活性化や子ども達への伝統文化の継承に貢献。

取組の背景

若手や女性を巻き込み商店街に新しい風

地方の商店街と同様、沼津あげつち商店街も郊外への大規模小売店舗の出店が進んだことによる「商圈人口の減少」、経営者の高齢化にともなう「話題性のある店舗の減少」、「業種が少ない」といった課題を抱えていた。

これらの課題に対し、商店街は、若手や女性との積極的な連携による商店街の新陳代謝の促進や、若者が集うカフェやスイーツ店などの専門店の活用促進、一級河川の狩野川という地域資源を活用した市民参加型のコミュニティ形成を誘客の方針として定めた。

取組の内容

狩野川を中心にして広がる活動の場

商店街が抱える課題に対する対応策の一つ目は、若手や女性との積極的な連携である。女性が中心となり立ち上げたあげつちおかみさん会では、毎月15日に「あげつち稲荷市」を開催。組合員店舗だけでなく近隣市町からも70店舗ほどのお店が出店しており、新規物産の発表の場としても活用されている。さらに、若手を中心に開催している「あげつちナイトマーケット」や「狩野川ローカルマーケット」では、狩野川流域の生産者や販売店から30店舗ほどが出店し、水辺で憩う空間を創出している。

あげつち稲荷市



あげつちナイトマーケット



対応策の二つ目は、専門店の活用促進である。1966年に発足した歴史ある商店街であるが、近年では商店街エリアに地域住民のニーズに応える専門店が数多く出店し、若者が集うカフェやスイーツ店、狩野川でカヤック体験やBBQができる専門店などが存在する。

対応策の三つ目は、地域資源を活用したコミュニティ形成である。狩野川を運航する「我入道の渡し船」に乗り、上土朝日稲荷神社で結婚式を挙げる「きつねの嫁入り行列」では、参加者が顔に狐の化粧を施し新郎新婦をお祝いするが、大人や子ども、そして外国人も地域の伝統文化を体験し、新たなコミュニティの形成を担っている。

きつねの嫁入り行列



取組の成果

若者に新規出店を促し、空き店舗率を低下

沼津市の中心市街地に位置する12商店街の空き店舗の状況について、2016年2月現在、全体の平均が11.5%であるのに対し、沼津あげつち商店街の空き店舗の割合は7.1%と低い水準を保っている。

これは、経営者の高齢化にともなう後継者不足が心配される中、商店街の活力を向上させるため、若者の出店や業種に縛られない空き店舗の活用など商店街として新規出店を積極的に受け入れているためである。

また、狩野川の水辺空間（通称 かのがわ風のテラス）の利用を始めて、地域密着型のイベントとして「水辺のステージ」の利用が増加し、商店街に加盟するホテルなどが、オープンカフェやBBQといった事業を展開することで、回遊性が向上している。この結果、2014年度の休日一日の歩行者通行量は1706人であったが、2015年度は2341人にまで増加している。

実施体制

狩野川の水辺空間の利用にあたり、「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」を組織し、沼津あげつち商店街と沼津市、国土交通省沼津河川国道事務所、沼津商工会議所、NPO法人沼津観光協会、沼津市商店街連盟がメンバーとなり連携体制を築いている。

また、各種イベントの実施にあたっては、商店街と若手や女性の有志グループとが連携し、企画運営や開催費用の確保に努めているほか、狩野川流域の生産者や販売店とも、賑わいや憩いの場とするコンセプトのもと協力し合い、継続した開催ができるよう自主財源の確保に努めている。

基本データ

所在地	静岡県沼津市上土町
人口	約20万人(沼津市)
電話/FAX	055-962-3812
関連URL	http://www.roy.hi-ho.ne.jp/i846/agentsuchi-s
会員数	25名
店舗数	30店舗(買回り品小売店9、最寄品小売店8、飲食店7、サービス店3、その他3)
商店街の類型	地域型商店街
主な客層	主婦、家族連れ、学生・若者

キーパーソンからのコメント

沼津あげつち商店街
八百屋「REFS (レフズ)」
店主 小松 浩二



地域の魅力を“伝える”ために

各店舗の魅力を“伝える”ことに特に力を入れて取り組んできました。魅力的な点と点が面白い線になればと、イベントを通じ、また「沼津ジャーナル」という地域メディアを活用し、地域に関わる、人、自然、食、そしてライフスタイルを取材して、web、SNS、映像を使い情報発信しました。

さらに、狩野川という地域資源が近くにあることを活かし、川の近くにある商店街としての強みを出すために、狩野川流域の生産者と協働したマーケットを開催しました。

さらなる発展のためには、もっと広い結びつきが必要

今後は、ナイトマーケットをはじめ、継続中の事業をいかに維持かつ発展させていくかが課題です。

そのためには、事業にストーリー性を持たせ、まちと豊かな自然資源を舞台に、そこに暮らす人々と様々なコンテンツをつなぎ合わせることで、この活動に携わる人をもっと増やし、この事業のすそ野を広げていくことが必要になってきます。コンテンツの編集や情報発信をいかに時代に合わせていくかが重要になりそうです。

商店街概要

沼津あげつち商店街は、旧東海道沿いに位置し、江戸時代から商業が集積して現在に至る地域である。1966年に商店街振興組合が発足し、1994年にはアーケードを新築、1997年には沼津市で初めての市街地再開発事業が施行された。

立地条件としては、JR沼津駅から南へ約500mに位置し、年間156万人の観光客が訪れる沼津港と中心市街地との中間点である。全長約150m間に質の高い専門店が多くあり、近年は若い店主が経営する新しい感覚の店舗が数多く出店し、まちの質感の向上に貢献している。